

## 平成25年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年7月4日

上場取引所 大

上場会社名 USEN

コード番号 4842 URL <http://www.usen.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 中村 史朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 小林 陽介

TEL 03-6823-7015

四半期報告書提出予定日 平成25年7月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	50,761	0.0	6,736	7.7	5,556	14.8	4,237	64.8
24年8月期第3四半期	50,746	10.7	7,296	34.0	6,524	53.4	2,571	54.5

(注) 包括利益 25年8月期第3四半期 4,348百万円 (68.5%) 24年8月期第3四半期 2,580百万円 (56.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	19.36	
24年8月期第3四半期	11.28	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第3四半期	69,624	13,049	18.7
24年8月期	73,304	8,700	11.9

(参考) 自己資本 25年8月期第3四半期 13,049百万円 24年8月期 8,700百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期		0.00		0.00	0.00
25年8月期		0.00			
25年8月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	0.1	8,000	12.9	6,500	20.8	4,500	31.5	20.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期3Q	207,148,891 株	24年8月期	207,148,891 株
期末自己株式数	25年8月期3Q	1,069,838 株	24年8月期	1,069,522 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期3Q	206,079,252 株	24年8月期3Q	206,079,500 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足資料の入手方法について)

平成25年8月期 第3四半期 決算概況資料は、本日(平成25年7月4日)、当社ホームページで開示しております。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	7
( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
( 6 ) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（自平成24年9月1日 至平成25年5月31日）におけるわが国の経済は、新政権による経済・金融政策の期待感などから円安や株高が進行し、景況感や消費者マインドの回復に明るい兆しが見られたものの、雇用・所得環境の改善には至らず、電気料金や生活物資等の値上げにより先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、「成長の足掛かりを掴み取る」という今期の全社方針に基づき、引き続き、財務体質の改善を推進するとともに、新たなマーケットの開拓、新サービスの研究開発に取り組んでまいりました。本年3月には、新事業戦略室を新設するなど、将来の事業発展に向け、更なる推進体制の強化に注力しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高50,761百万円（前年同四半期比0.0%増）、営業利益6,736百万円（前年同四半期比7.7%減）、経常利益5,556百万円（前年同四半期比14.8%減）、また四半期純利益につきましては4,237百万円（前年同四半期比64.8%増）となりました。

当社グループの各セグメント別の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高を含む。）及び営業利益は以下のとおりであります。

#### <音楽配信事業>

音楽配信事業は、創業以来、当社グループ事業の主軸であり、今後においても、その安定的な収益基盤の維持及び強化を図っていく必要があると認識しております。このため、業務店向け・個人向け市場においてのシェア拡大に向けた取り組みとして以下の施策を実施してまいりました。

法人顧客（チェーン店市場）における新たな収益源の構築と顧客数増を目的とした付加価値商材・新サービスなどの提案

生涯収益が高いと見込まれる新規オープン店に対する営業活動への注力

既存顧客に対するフォロー営業やCS向上施策による顧客数減少の抑止と長期利用の促進

更に、新たなマーケットを開拓すべく、本年2月には働く人のメンタルヘルス対策という新たな概念の法人向け新サービス「Sound Design for OFFICE」の提供を開始するなど、新たな市場拡大や事業の強化に向け取り組んでおります。

その結果、音楽配信事業における当第3四半期連結累計期間における売上高は30,463百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は6,326百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。

#### <業務用システム事業>

業務用システム事業においては、ホテル・病院・ゴルフ場などの業務管理システム及び自動精算機の開発、製造、販売などを㈱アルメックス（連結子会社）が行っております。

当該事業においては、顧客の省人化・効率化に寄与する製品・サービスに対する潜在的なニーズは堅調であることから、最近の環境変化を捉え、的確な営業戦略に基づき売上増を図り、利益の最大化に努めてまいりました。

昨年12月には、新モデルの自動精算機を投入するなど、レジャーホテル向けの製品の拡充をおこなっております。

その結果、業務用システム事業における当第3四半期連結累計期間における売上高は10,921百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は968百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

#### <ICT事業>

ICT事業においては、法人向け回線販売事業やアプリケーションサービス販売事業などを行っております。当該事業においては、各企業におけるクラウド系サービスやデータセンターサービスに対する需要が高まっていることから、クラウド商材の拡充など以下の施策を実施してまいりました。

光回線顧客拡大のための新サービスの開発・投入

顧客ニーズに応えるサービスラインナップの拡充

豊富なサービスラインナップによるオフィス環境改善に向けた提案営業

その結果、ICT事業における当第3四半期連結累計期間における売上高は7,008百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益は416百万円（前年同四半期比26.9%減）となりました。

#### < その他事業 >

その他事業として、業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業などを行っております。

集客支援事業においては、飲食店向け集客支援サービス「ヒトサラ」を展開しております。当該事業においては、「ヒトサラ」を競合優位性のあるメディアに育て上げるとともに、事業利益の最大化を目的とした事業基盤強化を推進しております。

グルメサイト「ヒトサラ」内で本年2月に立ち上げた飲食店の料理人情報を集約した「料理人名鑑」は、本年5月時点では約2,000名の現役料理人の情報を掲載するまでに至っており、従来の店舗情報とは異なる視点からお店とユーザーを結びつける新コンセプトによるサービスの提供を開始しております。

また、特定非営利活動法人TABLE FOR TWO Internationalとの社会貢献運動プログラム「ヒトサラ×TABLE FOR TWO」を開始し、ヒトサラを通じてアフリカの子供たちに学校給食を届ける運動を行っております。

音楽著作権の管理、開発事業は㈱ユーズミュージック（連結子会社）が行っております。当該事業においては、音楽配信事業のより一層の発展に向けた楽曲プロモーション媒体の的確な提案・提供などにより、レコードメーカー顧客との関係の強化に取り組んでまいりました。

その結果、その他事業における当第3四半期連結累計期間における売上高は2,456百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業損失は152百万円（前年同四半期は85百万円の営業損失）となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

##### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,680百万円減少して69,624百万円(前連結会計年度末比5.0%減)となりました。

##### (資産)

資産に関しましては、受取手形及び売掛金が441百万円、建物及び構築物が1,860百万円、土地が662百万円、のれんが996百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,680百万円減少し、69,624百万円(前連結会計年度末比5.0%減)となりました。

##### (負債)

負債に関しましては、長期借入金が6,928百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8,028百万円減少し、56,574百万円(前連結会計年度末比12.4%減)となりました。

##### (純資産)

純資産に関しましては、四半期純利益を4,237百万円計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ4,348百万円増加し、13,049百万円(前連結会計年度末比50.0%増)となりました。

##### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ165百万円増加の6,057百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金の収入は10,999百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益を4,553百万円、減価償却費及びのれん償却額を5,634百万円計上したこと、売上債権の減少が441百万円であったこと、前受金の増加が430百万円であったこと等により資金が増加した一方、たな卸資産の増加が253百万円であったこと等により、営業活動による資金の収支が一部減殺されたこと等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動による資金の支出は3,393百万円（前年同四半期比25.7%増）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得により資金が3,142百万円減少したこと、有形固定資産の除却により資金が709百万円減少したこと、有形固定資産の売却により資金が186百万円増加したこと、投資有価証券の売却により資金が295百万円増加したこと等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動による資金の支出は7,441百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。その主な要因は、長期借入金の返済により資金が6,928百万円減少したこと等によるものであります。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年4月4日の「平成25年8月期 第2四半期決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,907	6,192
受取手形及び売掛金	5,283	4,842
商品及び製品	389	539
仕掛品	178	311
原材料及び貯蔵品	1,362	1,334
その他	4,135	4,013
貸倒引当金	364	328
流動資産合計	16,892	16,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,752	17,891
土地	24,167	23,505
その他(純額)	2,990	3,614
有形固定資産合計	46,910	45,011
無形固定資産		
のれん	5,021	4,025
その他	2,335	1,801
無形固定資産合計	7,357	5,826
投資その他の資産		
その他	7,578	7,123
貸倒引当金	5,434	5,241
投資その他の資産合計	2,143	1,882
固定資産合計	56,412	52,720
資産合計	73,304	69,624
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,169	5,177
1年内返済予定の長期借入金	4,848	6,434
賞与引当金	588	986
その他	10,994	10,200
流動負債合計	21,600	22,799
固定負債		
長期借入金	37,933	29,419
退職給付引当金	3,068	2,951
その他	2,000	1,405
固定負債合計	43,002	33,775
負債合計	64,603	56,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,116	66,116
資本剰余金	62,381	62,381
利益剰余金	119,189	114,952
自己株式	531	531
株主資本合計	8,776	13,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	35
その他の包括利益累計額合計	75	35
純資産合計	8,700	13,049
負債純資産合計	73,304	69,624

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
( 四半期連結損益計算書 )  
( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成23年 9 月 1 日 至 平成24年 5 月31日 )	当第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 9 月 1 日 至 平成25年 5 月31日 )
売上高	50,746	50,761
売上原価	21,876	21,935
売上総利益	28,869	28,825
販売費及び一般管理費	21,573	22,089
営業利益	7,296	6,736
営業外収益		
架線移設補償金	19	35
その他	176	130
営業外収益合計	195	165
営業外費用		
支払利息	844	767
借入手数料	36	361
その他	87	216
営業外費用合計	968	1,345
経常利益	6,524	5,556
特別利益		
投資有価証券売却益	1	214
新株予約権戻入益	133	-
その他の引当金戻入額	-	121
その他	67	101
特別利益合計	202	437
特別損失		
固定資産除却損	1,061	567
減損損失	2,638	859
その他	80	13
特別損失合計	3,780	1,440
税金等調整前四半期純利益	2,946	4,553
法人税、住民税及び事業税	217	609
法人税等調整額	157	294
法人税等合計	374	315
少数株主損益調整前四半期純利益	2,571	4,237
四半期純利益	2,571	4,237

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,571	4,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	110
持分法適用会社に対する持分相当額	0	-
その他の包括利益合計	8	110
四半期包括利益	2,580	4,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,580	4,348
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,946	4,553
減価償却費	4,545	4,638
減損損失	2,638	859
のれん償却額	1,072	996
貸倒引当金の増減額(は減少)	99	229
賞与引当金の増減額(は減少)	661	398
退職給付引当金の増減額(は減少)	167	117
支払利息	844	767
投資有価証券売却損益(は益)	1	214
固定資産除却損	1,061	567
借入手数料	36	361
売上債権の増減額(は増加)	45	441
仕入債務の増減額(は減少)	567	89
前受金の増減額(は減少)	218	430
未払金の増減額(は減少)	1,149	559
たな卸資産の増減額(は増加)	116	253
その他	737	396
小計	11,137	12,153
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	835	757
災害損失の支払額	136	-
法人税等の支払額	152	405
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,019	10,999
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,508	3,142
有形固定資産の売却による収入	255	186
有形固定資産の除却による支出	722	709
投資有価証券の売却による収入	16	295
その他	260	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,698	3,393
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	7,072	6,928
借入手数料の支払額	36	361
その他	139	151
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,247	7,441
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	73	165
現金及び現金同等物の期首残高	6,455	5,892
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,529	6,057

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	I C T 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	30,931	10,769	6,608	48,309	2,436	50,746		50,746
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	52	30	0	83	26	110	110	
計	30,983	10,799	6,609	48,392	2,463	50,856	110	50,746
セグメント利益 又は損失( )	6,715	956	569	8,241	85	8,155	858	7,296

(注)1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 858百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、売却の意思決定をした保有不動産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,636百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年9月1日至平成25年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	I C T 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	30,416	10,902	7,006	48,325	2,435	50,761		50,761
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	46	18	1	66	21	88	88	
計	30,463	10,921	7,008	48,392	2,456	50,849	88	50,761
セグメント利益 又は損失( )	6,326	968	416	7,711	152	7,559	823	6,736

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 823百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、将来収益が見込めなくなった保有不動産等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては848百万円であります。